

令和五年度

修士論文・卒業論文題目

大学院文学研究科

〈史学・文化財学専攻〉

木下 穂也 織田政権再考

吉岡 琴美 民俗学的視点から見る「昭和ノスタルジー」に関する考察―豊後高

田市 昭和の街を事例に―

吉倉菜々美 保存処理の最適化―含浸用樹脂

の防錆効果の比較と金属の劣化

実験―

史学・文化財学科

〈日本史・アーカイブズコース〉

青柳 光華 近世における遊郭の歴史について

上尾光司朗 水を中心として見る、豊後国大

野荘

朝倉 千絵 近世における御家流普及の謎―

庶民の視点から読み解く―

池永 穂月 海軍省と軍令部からみる海軍内

の不和

石村 優奈 中世前期松浦党にみる「党」の

存在形態

市来 友梨 文久三年八月十八日の政変―薩

摩藩と会津藩の関係性―

伊藤 一道 『日本外史』の普及について

井上 董 株仲間について

院内 靖明 渋沢栄一と第一国立銀行の歴史

宇留嶋祐史 宇垣軍縮が陸軍作戦方針に影響

を与えたのか―帝国国防方針を

例にして―

江口 壘 大坂の陣

蛭原 睦喜 薩摩藩が明治維新を成し遂げた

理由

太田 純平 田澤義鋪と青年団

大瀨 悠斗 寝殿造の基礎的考察―配置・構

造について―

大本 哲平 貴種流離譚の成立とその背景を

めぐって―島根県益田市の伝承

を事例に―

小田 駿輔 民俗の観光化に関する一考察―

宮崎県椎葉村を事例に―

甲斐 澁貴 刀剣の始まり

海田健太郎 英雄譚と鳥の関連性における一

考察―風浪宮鷺見伝説を中心に―

柿本 大河 陸軍皇道派の思想―北一輝の思

想はどのように受容されたか―

梶原 史喜 大坂の陣について―豊臣家滅亡

の要因を探る―

川島 一翔 戦国期のリアルな戦術・陣形に

ついて

川野 紘暉 黒田官兵衛について

清末 春佳 民間信仰の地域性―大分県杵築

市東大内山地区の康申信仰を中

心に―

倉富 慶吾 人と猫の関係性に関する一考察

―佐賀県の鍋島の化け猫騒動を

中心に―

高口 樹希 温泉観光地としての別府の発展

―人物に焦点を当てて―

迫田 浩輝 日本海軍における巡洋艦の発展

と変容

指山 武蔵 室町期大内氏の筑前進出

佐藤 嵩大 豊後国の諸藩と城下町の成り立ち

重光 宏哉 重光家について

柴田 祐華 鎌倉期における医事概況

下門 茉生 魚の民俗―日本人にとっての魚

のイメージ―

瑞慶覧 涉 織田信長と浅井長政とお市の方

瀬戸口 瑠加	中世における六郷満山の仏像の特徴について	花嶋 隆光	幕末『土佐藩』の政治動向の検討 ―山内容動と武市瑞山を中心に―	武藤 碧	山車の成立と変遷―大蛇山祭り を事例に―
田中 祥嵩	相良氏から見る武士の成立と立ち位置の変化	原井 希望	徳川政権を支えた大奥について	森 龍生	武士との関連性に見る馬の役割 ―馬具と馬産を中心に―
田中 怜奈	竹中半兵衛についての基礎的考察	平田 夢乃	軍艦の擬人化に関する一考察― 「艦これ」の流行を背景に―	森本 美桜	平安時代・鎌倉時代の書風の変 化と利用―世尊時家を中心に―
富田 一平	第一次ロンドン海軍軍縮会議前後の日本陸海軍関係	福泉麟太郎	中世社会における田楽・猿楽の実態	横尾 凌汰	織田信長の政策
富田 凌	筑豊御三家の発展及び現代への影響に関する比較と考察	藤井 慧	江戸時代の毛利氏	吉岡 大志	坂下門事件における幕末志士の 動向の検討―大橋响庵を中心に―
中川 優太	遊びの野球から鍛錬の野球へ	保里 俊将	黒田家発展に力を尽くした漢の生涯について	吉満 雅	松方正義が日田にもたらしたも の―日田養育館を中心に―
永松 真穂	近世城郭の特徴と役割について	益田 悠斗	シベリア抑留の起源とその特異性	吉村 衿香	熊本城の耐震性について
中村 龍喜	異国船土払い令復古評議に関する一考察	松浦 汐里	文明開化と外国人居留地―横浜 と神戸を中心に―	石元 嘉重	植民地朝鮮における戦時労務動員
西岡 翔生	熊本城について	松本 拓海	呉の発展と鎮守府	井上 直哉	商鞅の変法について
音琴 温人	大政翼賛会はなぜ失敗したのか ―議會答弁を中心に―	三岡 恵大	山本五十六の外交	内田 隆翔	フランス・ブルボン朝における 民衆文化とエリート文化
根本 拓真	「あゝ」号作戦と捷号作戦から見る 太平洋戦争後期の兵力不足の 原因	三澤 勇紀	文久三年以降における長州藩と 小倉藩の軋轢について	宇都宮安優武	14世紀東アジア情勢と前期倭寇
納富 悠依	本能寺の変について	峰尾 柚衣	平氏政権との関係における撰関 家について	大口 未来	古代エジプトにおける死の受容 ―『死者の書』を通して―
野田 夢磨	豊臣秀吉の天下統一の過程	三船 鷹人	商店街の衰退―大分県日田市の 中心部を事例に―	甲斐菜々穂	『三国志』と『三国志演義』の 比較研究
橋内 美奈	プロバガンダの文学―火野葦平 の出現前後の変化―	宮田 風花	南九州の馬喰―時代による家畜 商の変容の一考察―	片平 百子	イギリスにおける紅茶の流行― 階級差による違いを中心に―

〈世界史コース〉

上川 悠希	独ソ戦とホロコースト	八塚 悠生	英国社会においてコーヒーハウ スが果たした役割	乙藤 想乃	沖ノ島祭祀遺跡出土鉄について
貴 点	鑑真渡日の背景	山崎 優希	大航海時代の交易地としてのマ ラッカ海峡と外来商人の交易	河口 真菜	日本文化とそれに伴う化粧行動 の変容
北田 瞳	中世・近世ヨーロッパにおける 拷問・刑罰の必要性と正当性	大和 百花	歴史学の観点から見るロシアと ウクライナの関係について	菊池 開人	倭城について
久保田奈々	中世ペストについて	山本 圭佑	ルネサンス期のフィレンツェに おける美術制作とパトロン活動 の意義	北村 仁勇	福岡城の瓦の変遷について・福 岡城跡出土の軒丸瓦を用いて・
黄 煜	中国南北朝時代における北方各 民族の融合	河野 優生	イングランドにおけるサッカー史 唐代における妻と妾の法的・社 会的地位について・唐津疏義に 見える妻と妾の分析を通して・	河野 葵	これまでの戦争遺跡とこれから の戦争遺跡について
須田 葵	政治と社会	須田 葵	〈考古学・保存科学コース〉	古谷 悠汰	西日本における中世城館の土塁 について・北部九州の城館・城 郭を中心に・
田中 賢	争について	赤嶺 萌衣	文化財における複製品の役割・首里 城での複製品の活用を通して・	坂下 大智	陶磁製・鉄製・青銅製の鳥居と その比較
陳 昊	争について	荒川 優斗	北部九州における弥生時代小型 ぼう製鏡の特徴とその分類 近 年の出土資料を加えての再評	坂下 大智	陶磁製・鉄製・青銅製の鳥居と その比較
戸田 理桜	争について	石本 和希	中世大友府内町跡出土銭貨につ いて	穴戸 千真	中近世城郭における水城について
中野 尊	漢・匈奴関係から見た西域の重 要性	今村 秋太	日本におけるヒスイの再発見に ついて	竹田 尚志	出土鉄製品の脱塩処理と鉄粉圧縮 体を用いた脱塩処理効率実験
西角 航兵	後漢末における曹操集団の形成 過程とその構造	江川 慶	火縄銃の製造方法と鉄砲伝来・ 化学分析の結果を用いて・	田中 咲歩	北部九州の環濠集落の展開とその 性質・吉野ヶ里遺跡を中心に・
本田淳之介	印欧語族の形成と移動	大田 悠人	南九州における古墳時代在地墓 制の研究	恒成 紀希	南九州における前方後円墳の築 造規格の変遷について
松本 直也	ヨーロッパにおけるペストの歴史	大田 悠人	南九州における古墳時代在地墓 制の研究	所崎玲於奈	日本刀における古代からの変遷
蓑田 望歩	古代エジプトの日常生活について	大田 悠人	南九州における古墳時代在地墓 制の研究	中村 海仁	古墳時代における須恵器の特徴 と須恵器編年の重要性

- 東 晃世 縄文時代の竪穴住居における生活空間（間取り）の様相
- 藤井 大地 出土金属製品の保存修復研究史
- 藤本 春剛 博物館内の保管環境調査Ⅰ生物被害と温湿度のモニタリングを通してⅠ
- 前田 皓成 日本古代の権についてⅠ弥生時代から中世を事例としてⅠ
- 前田 幸汰 長崎県新上五島町の資料館の保存環境調査Ⅰ異なった環境におかれたキリシタン伝世資料の展示状況調査を通してⅠ
- 宮脇 海萌 大震災時の文化財レスキューについて
- 薬師寺佑亮 古代のガラスについて
- 山下 嵩仁 波佐見・有田の焼物史
- 山田菜々美 瓦当文様からみる北部九州の新羅系軒瓦の系譜
- 山元 晴 豊後の古墳の墳丘傾斜角について
- 吉田 伶音 宗像・沖ノ島を中心とした国内外における祭祀遺跡の比較と国際交流
- 吉山 雅也 山口県における古墳時代後期・終末期の横穴式石室構造の展開について